

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

### 事業名 高校生と中学生が共に学ぶキャリア支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 高校総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8657)

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,339 千円 (前年度予算額：5,339 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,339	2,624	0	0	0	0	0	0	2,715
要求額	5,339	2,624	0	0	0	0	0	0	2,715
決定額	5,339	2,624	0	0	0	0	0	0	2,715

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

生徒の将来の社会的・職業的自立を図るために、中高の接続等に当たり目的意識を持った進路選択が行われるようなキャリア教育の取組が求められている。これに加えて、専門高校においては、義務教育段階から、地域産業や専門高校に対する興味・関心や理解を醸成する取組が必要とされている。

### (2) 事業内容

高校生が、専門学科等における体験講座、高等学校フェアを通して「地域社会人」として活躍する人材の大切さを中学生に伝えるとともに、中学生が、「高校での学びの先」について正しく理解し、目的を持った進路選択を行う能力を身に付けることができるよう、キャリア教育の充実を図る。

#### ① 専門学科等体験講座「キャリア・チャレンジDay」

- ・専門学科等において、年間2～4回の体験講座を実施する。
- ・中学生(1、2年生を中心)が、興味・関心に合わせて参加する。

#### ② 高等学校フェア

- ・実施地区ごとに普通科・総合学科・専門学科の高等学校が一堂に会し、学校の特色や地域課題等の取組について、中学生へ発信する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2 (デジ田交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	88	引率旅費
消耗品費	4,830	体験学習材料費
保険料	192	傷害保険
使用料	229	会場使用料等
合計	5,339	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン  
施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成  
1 3 学びと将来とをつなぐ、地域と連携したキャリア教育の充実
- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 施策編  
1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり (1) 未来を支える人  
②地域の声を反映した産業教育の展開 キャリア教育の推進

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

中学校においては、社会における自らの役割や将来の生き方、働き方等について考えたり、目標を立て計画的に取り組む態度を育成して進路の選択・決定に導いたりするなど、生徒の職業観・進路・生き方の形成を図る。

高等学校においては、生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な能力や態度を育成したり、勤労観・職業観等の価値観を、自ら形成・確立したりするなど、高校生自身のキャリア形成を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①今の学校に入学して満足している生徒の割合	83.8%	85.9%	90%	90%	100%	85.9%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「キャリア・チャレンジday」 各専門高校において、年2～4回の体験講座を実施した。</li> <li>「高等学校フェア」 県内1地区（多治見地区）での実施となった。</li> </ul>
	指標① 目標： <u>90%</u> 実績： <u>84.8%</u> 達成率： <u>94.2</u> %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「キャリア・チャレンジday」 各専門高校において、年2～4回の体験講座を実施した。</li> <li>「高等学校フェア」 県内3地区（可茂、多治見、恵那地区）での実施となった。</li> </ul>
	指標① 目標： <u>90%</u> 実績： <u>85.9%</u> 達成率： <u>95.4</u> %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>将来の社会的・職業的自立のために必要な資質・能力の育成や、中高・高大の接続等に当たって目的意識をもった進路選択が行われるよう、キャリア教育の理解の深化を図るとともに、多様な進路選択の実態も考慮しながら、進路指導やキャリア教育の取組を充実することが求められているため。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>地域産業や専門高校に対する興味・関心や理解を醸成する取組とされている。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>学校における教育活動の一つとしてプログラム化され、事業運営や体験講座の充実が図られている。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  中学校と高等学校の連携・協働による、生徒の主体的・対話的で深い学びの場及び体験的な活動を支援する必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  中学校と高等学校の連携に加え、生徒の職業観・進路・生き方の形成を図る。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	